

2019年度後期 文学 学生・教員懇談会 議事録

日時：2019年11月14日（木）12：10～13：30

会場：法政経第1会議室

参加者：各コースの学生、および学部長・各コース長・学生委員長・教務委員長・学生委員等の教員、学務グループ事務担当者

第1部 共通テーマ「専門教育における魅力的な留学プログラム」

各コースで学生が作成した留学プランのプレゼンテーションを行った。

行動科学コース

1. メキシコ研修
2. シンガポールでの多文化都市調査

歴史学コース

1. オーストラリア フリンダース大学での海洋考古学研修
2. 外国史専門：専門の外国への留学 研究者との交流
日本史専門：日本学科のある外国の大学での研修

日本・ユーラシアコース

1. 専門とする外国での研修 事前学習後、現地の産業について学ぶ8日
2. 中国研修

国際言語文化学コース

1. ドイツ 3週間 ライプチヒ大学、ベルリン自由大学
ドイツ語・歴史についての事前学習
現地で研修後、ドイツ語でのプレゼンテーション、イールドワーク
2. フランス フランスの学生との異文化交流プログラム

第2部 文学部・千葉大学への意見

意見：シラバスに、教室だけでなく、その教室がある建物名も記載してほしい。
教室のある建物が分かりにくい。

回答：建物の名称が、キャンパスマップや文学部案内の記載、通称などが不統一で分かりにくい面があるので、整理して分かりやすく改善していく。

意見：サークルでのパワハラで困っている学生がいる。

回答：以前、サークルでの問題については、匿名で文学部意見箱に投書があり、学生委員会でも対応したことがある。そのような方法もある。

また、ハラスメント相談室を通して相談することも可能で、以前、全学のハ

ラスメント防止対策委員会で調査委員会を立ち上げヒヤリングの後、ハラスメント認定をして解決した事例もある。

ハラスメント相談の仕組みや相談員リストは千葉大学HPに掲載されている。臨床心理士の資格を持った外部相談員が総合安全衛生管理機構 2 階の相談室で相談を受けており、必要な場合には訴えのサポートもする。是非相談して、解決してほしい。

意見：文学部の建物ではまだ古い和式のトイレが多い。

回答：現在調査して、本部に改修の要望を出している。

意見：現在、協定大学から来ている留学生が国際の専門科目に参加していて、交流ができてとてもいいので、そういう機会をふやしてほしい。

回答：ドイツからの留学生は、昨年度今年度と、普遍教育のドイツ語授業にアシスタントとして参加したり、学部や大学院の授業にも参加していて、双方にとっていい刺激になっている。

J-PAC 等で来ている留学生は、そちらの授業が忙しく、なかなか文学部の授業にはこられない学生も多いようだが、双方の関心・ニーズを生かせるように情報を提供していきたい。

意見：外国語の勉強のために、自分が研究している国から来ている留学生がいれば、言語を学びたいのだが、どの国の留学生が来ているか知ることはできないだろうか。

回答：留学生の出身国リストのようなものを公開することはできないが、学習したい言語について教務課を通して留学生課に照会することはできるだろう。

追記：English House の Language Exchange Program (LEX) で学びたい言語を申し込んで言語パートナーを見つけることも可能である。

意見：文学部懇談会・留学生パーティーの開催が、学生にあまり知られていない。もっと知られるようにしてほしい。

回答：掲示板にポスターを掲示し、学生ポータルを通して学生の千葉大アドレスへもメールで送信しているが、転送手続きなどがきちんとされていないと、受信できていないようだ。千葉大メールも頻繁に見るようにしてほしい。今後は掲示やアナウンスもふやしていきたい。

来年度の教育体制についての最新情報として、以下をアナウンスした。

教員補充：2名（歴史学コース・国際言語文化学コース）

他学部履修で専門科目になる単位の上限を6単位から8単位に上げる。

「多言語多文化接触論」「多言語多文化接触論演習」の科目は今後も開講し、卒業指導も続けることとなった。

「ドイツ文学論演習」：国際教養学部の教員が兼担で後期開講することとなった。